

5. 花き類

(1) きく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
ゴーゴーサン乳剤	全面土壌散布	定植前（雑草発生前）	1回（ペンディメタリン1回）	
トレファノサイド乳剤	畦間土壌散布	定植後	1回（トリフルリン1回）	きく（露地栽培）

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

防除時期及び処理法	対象雑草	除草剤の種類及び10a当り使用量	使用法	注意事項
定植前（雑草発生前） 全面土壌散布	一年生雑草	ゴーゴーサン乳剤（ペンディメタリン30%） 200～400mℓ	1. 水 70～150ℓ に溶かし、均一に散布する。	1. 適湿状態で散布する。 2. キク科及びツクサに対して効果が劣る。
定植後 畦間土壌散布	一年生雑草（ツクサ科、カヤツリグサ科、キク科、アブラナ科を除く）	トレファノサイド乳剤（トリフルリン44.5%） 200～300mℓ	1. 水 100ℓ に溶かして均一に散布する。	1. 生育が軟弱な場合は使用を避ける。

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
アグロマックス水和剤	一年生雑草（キク科、カヤツリグサ科を除く）	全面土壌散布	定植後雑草発生前	200～400g/10a	1回（7℃以上1回）	I	
クレマート乳剤	一年生雑草	全面土壌散布	定植後（雑草発生前）	200～400mℓ/10a	1回（7℃以上1回）	I	きく（ポットマム）
クレマートU粒剤	一年生雑草	全面土壌散布	定植後（雑草発生前）	4～6kg/10a	1回（7℃以上1回）	I	
ナブ乳剤	一年生イネ科雑草（スズメノカタビラを除く）	雑草茎葉散布又は全面散布	雑草生育期（イネ科雑草3～5葉期）	150～200mℓ/10a	3回以内（セトキシム3回以内）	II	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

注3) 農薬登録上の作物名が標記の作物名と異なる場合、備考欄に記載した。

(2) ゆり

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前	1 回(トリフルリン 1 回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類 及び 10a 当り 使用量	使 用 法	注 意 事 項
植付後～萌芽 前 全面土壌散布	一年生雑草 (ツユクサ 科、カヤツリ グサ科、キク 科、アブラナ 科を除く)	トレファノサイ ド乳剤 (トリフルリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶か して均一に散布 する。	

(3) しゃくやく

薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
トレファノサイド乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前	1 回(トリフルリン 1 回)	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。

防除時期 及び処理法	対象雑草	除草剤の種類 及び 10a 当り 使用量	使 用 法	注 意 事 項
植付後～萌芽 前 全面土壌散布	一年生雑草 (ツユクサ 科、カヤツリ グサ科、キク 科、アブラナ 科を除く)	トレファノサイ ド乳剤 (トリフルリン 44.5%) 200～300ml	1. 水 100ℓ に溶か して均一に散 布する。	

(4) グラジオラス

・参考農薬

薬剤名	対象雑草	使用方法	使用時期	使用量	使用回数	魚毒	備考
クレマート乳剤	一年生雑草	全面土壌散布	植付後（雑草発生前）	200～400 mℓ/10a	1回（ブタミホス1回）	I	

注1) 使用回数の欄の記載は、収穫物への残留回避のため当該剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

注2) 農薬のラベルに記載されている注意事項を必ず読む。